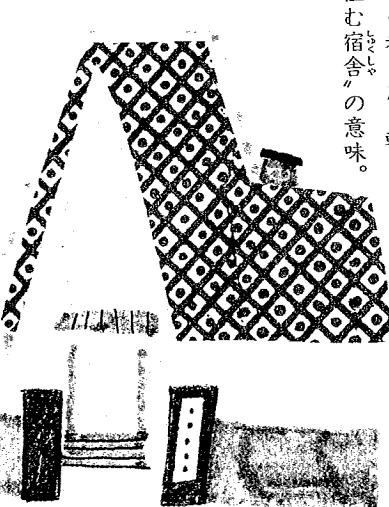


僚
察



なりたち 篪火(りかげ)を焚(た)くことを表した寮(寮が篝の形をかたどり、小は火の変形と、人の会意形文字。篝火を焚く人、という意味の字。
仲間が交代で焚くところから、同じ職場で働く「仲間」の意味に用いられる。

官僚……役人。
閥僚……内閣の各大臣。
幕僚……軍隊で、長官に直属する参謀將校。
属僚……下級役人。

なりたち 篠火(りのび)を焚(た)くことを表した寮と、家の意味の「（うかんむり）」との会意形声字。篝火を焚く家と、いふ意味の字で、夜通し交代で篝火を焚いて警衛する人々の詰め所（役所）を表した。転じて、『同僚か住む宿舎』の意味。

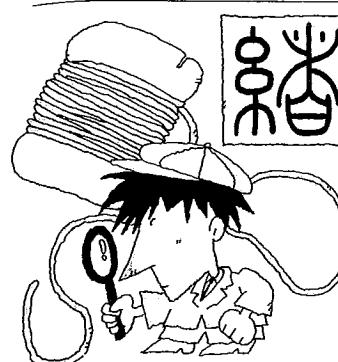
寮生：学生寮に住む学生
寮母：寮に住んで寮生の世話ををする婦人。
寮歌：学生寮で、寮生の意気揚揚のために作った歌。
寮祭：寮長・寮費

14画
僚
はねる
りょう

▼ 同じ職場で働く仲間。
同僚：同じ職場で働く仲間。
僚友：同僚と同じ意味。
の仲間。
僚船：仲間の船。
役人。

15画
宀 宀 宀 審 審 審
はねる

▼ 役所。
▼ 同僚が住む宿舎。
独身寮：独身者のための宿舎。
学生寮：学生のための宿舎。
多く他地方出身の学生のために学校が設ける。



緒言：いとぐちの言葉、書物の前書きのこと。序文。

▼ 緒のつながり。紐ひも。

由緒：糸のようによつて長く続いていること。歴史・伝統の意味で、それが立派である意味に用いる。

用例 由緒ある

都合 どうわ **用例** その都度やり直す。
情 じょう **用例** ①他の事との関係。
都合が良い **用例** 都合をつける
りくりり。用例 都合をつける
合計 ごうけい **例都合三名** ②

▼ 東京都のこと。
都民 とみん 東京都の住民。
都心 としん 東京都の中心部。

なりたち 意味を仮借した者と、の形声字。糸のはじめつまり糸口を表した字。転て、物事のはじめ・物事の起りの意味に用いられる。わが国では、紐の意味に用いる。“お。

味で、ある種の感情を湧（わ）き起（おき）こさせる雰（ふん）囲（い）気（き）のこと。例（たとえ）下（しも）町（まち）情緒（じょうじょ）：② 体（たい）に表現（ひげん）されような喜（き）怒（どく）、哀（あい）、樂（らく）などの強（つよ）い情感（じょうじやう）。例（たとえ）情緒（じょうじょ）不（ふ）安定（あんてい）。論（りん）：言（ごん）論（るん）のいどぐちの意味（みやう）で、本（ほん）論（りん）の前（まへ）置（おき）きのこと。

「はらう」
なりたち 旧字体は都の物の甘いもの
が多い意味の者と、邑(印)(町)の変形した阤(おおごと)との会意形声字。町の甚だ大きいもの、という意味の字で、「ア」や「ニ」を表した。転じて、「おお」と「ぱ」を組み合った「おおぱ」という言葉がある。

▼ 満都（まんと）：都（とく）全体。用例：満都のコロナ禍は、都（とく）が大きな町（まち）である華（はな）やかな町（まち）ですべて（みな）皆（みな）度（ど）：その度（ど）ごと。毎回（まいりゅう）。

いとぐち。物事のはじめ。
端緒：物事のはじめ。また、
物事の解決のいとぐち。
用例 事件解決の端緒をつかむ。

1画		
+		
土		
ノ		
ノ		
者		
者		
都	〔3 年〕	都 〔おん みやこ ト・ツ〕

いみどじゅく
▼ 都 みやこ … 天子の住む所。
帝都 ていと … 天子の住む町。
首都 しゅと … その国の中央政府の
古都 こと … 昔、都であつた所。
都 みやこ … あつた所。